

✓ファイル ①

株式会社アスカネット

就労移行支援事業所利用者の職場見学会の実施や、広島障害者職業センタージョブコーチ支援を受けながら、障害者の雇用に努力



企業情報

平成7年（1995年）に、写真撮影業務の飛鳥写真館から、デジタルフォト専門会社として開業。映像写真の加工制作、通信出力では全国シェア25%を誇り、個人向けの写真集の制作も行っている。新時代の技術や文化、生活スタイルの変化を素早くとらえ、未来を想像し、さらに魅力ある写真や映像表現を提案し、常に最高のクオリティーとサービスの提供を目指している。



PROFILE

- ◆所在地 広島市安佐南区祇園3-28-14
- ◆代表者 代表取締役 福田 幸雄
- ◆電話番号 (082) 850-1212
- ◆常時雇用労働者数 370人
- ◆障害者雇用数 9人

障害者雇用担当 菅野シニアアドバイザーにインタビュー

Q. 障害者を積極的に雇用されたきっかけは？

昨年（平成25年（2013年））、障害者雇用について、法定雇用率が不足している状況を打破するべく、ハローワークのご助言等をいただきながら取り組みを鋭意実践しました。

まずは、仕事の切り出しをして、障害者に合った仕事を見つけることでした。それから就労移行支援事業所等にお願ひし、面接希望者を募り、企業見学や体験実習を行い、労働局主催の合同面接会にも参加しました。30名以上面接をして、4名新規採用しましたが、それほど採用に関して苦労したという感じはないですね。



菅野さん

Q. 障害者雇用に関して配慮している点は？

精神障害者の方については、体調の波があることを考慮し、短時間勤務で固定し、体調が悪い時は遠慮なく休んでもらうことにしています。さらに大事なこととして、作事中に体調がすぐれないときは、必ず上司に訴えることを約束してもらいました。また、本人が混乱しないように、作事の指示を行う人は一人に固定し、指示は一つずつ出すようにしました。基本的には、過度の負担とならないように特に納期に追われない作事を任せています。本人の体調が良い

時には仕事をもっと頑張ろうと意欲を示しますが、必ず反動が出ますので、スキルが上がっても無理なことはさせないことも大事です。体調を考えて、残業ありません。それと、本人の見えるところで仕事上の話であってもヒソヒソ話をしない、配席もなるべく上司などが見えないように工夫しています。

一番大切なのは、「つかずはなれず」。過保護にならず、突き放さず、コミュニケーションを取り易い環境を心がけていますので、体調の不調等を訴えやすい職場環境にあると自負しています。



Q. 過去に失敗したことは？

障害者雇用＝身体障害者＝車椅子という思い込みがあり、施設のバリアフリー化やトイレの改修などハード面の配慮ばかり考え、障害者雇用に限界があると思い込んでいたように思います。また、以前、聴覚障害者の方を雇用したことがあり、社内で手話勉強会を実施したり、筆談ボードを使ってコミュニケーションを取るなど色々配慮し、職員にも意識付けをしたのですが、2か月後、仕事に疲れるということで本人から退職の申し出があり、落ち込んだことがありました。そのことが一つの要因となって、障害者雇用に躊躇していたように思いますが、身体障害者以外の障害者雇用に関してノウハウがなかったということもあります。社員の中にメンタル面で悩みを抱えている人もいますので、精神障害者の方への理解は多少は持っていましたので、このたびの積極的採用活動をきっかけに、今では案外いけるのかと思っています。

Q. 他の関係機関との連携は？

新規採用者は、広島障害者職業センターのジョブコーチや就労移行支援事業所の定着支援を受けていますが、今では随分落ち着いて仕事をされていると思います。自分の体調に合わせて休みも取られています。

今後は、広島市のプロモート事業にも協力し、障害者就労施設で働く障害者の方の施設見学や実習の受入を行いたいと考えています。

Q. 今後の課題と新たに障害者を雇用しようとする企業へのメッセージをお願いします。

まだまだ障害者雇用率に余裕がないので、もう少し障害者雇用に取り組みたいという思いがあります。大企業のようにはいきませんが、障害者が働きやすい企業でありたいと思っています。

先にも述べたのですが、障害者雇用のためには、障害者に合った仕事を切り出すことと、障害者に配慮して、コミュニケーションを取りやすい環境にすることだと思います。つかず離れずで向き合うことではないでしょうか。

職場訪問



商品発送用ケース作り・検品ほか



一般事務



画像処理オペレーター